

日光国立公園の“本物の自然”を活かした観光振興

西郷村真船地区

西郷村

県南建設事務所
計画期間: H17~H19

地域づくりの方針

- 日光国立公園の“本物の自然”をいかした西郷村観光
- 西郷村の資源（人、自然、環境、文化、産業）を生かした持続可能な観光

主な事業内容

甲子高原のすばらしい景観を快適に望むため

展望台

を整備しました。



事業概要図



地域の現状

西郷村は、県南地域の北西部に位置し、西は下郷町、南は栃木県那須町と隣接しています。村の北部から西部にかけては、那須連山等の峰々がそびえ、西部には日光国立公園が広がり、村の中央には、阿武隈川とその支流が貫流し、流域の各所に渓谷美が見られ、温泉も湧出する等、自然環境に恵まれた地域です。しかし、観光客の入り込みは近年減少傾向にあります。

地域づくりのあゆみ

平成16年

- ・国道289号景観形成推進協議会の発足。
- ・白河市・西郷村サイン統一計画策定。
- ・日光国立公園顔づくり基本計画書策定。

平成17年

- ・『第6回国道289号こどもサミット』の開催。

平成18年

- ・『第7回国道289号こどもサミット』の開催。
- ・私の甲子高原「フォトコンテスト」2007

平成19年

- ・源流の郷わくわくウォーキング
- ・『第8回国道289号こどもサミット』の開催
- ・「座頭ころばし展望台」、「剣桂展望台」を整備。（元気）
- ・西郷村と「座頭ころばし展望台」及び「剣桂展望台」の管理協定締結

平成20年

- ・那須甲子白河大川羽鳥広域観光推進協議会の設立。
- ・国道289号甲子道路開通。
- ・私の甲子高原「フォトコンテスト」2009

地域づくりを進めてきた中での課題及び解決策

地元住民の話をよく聞くことは肝心ですが、概して、行政に対する不満が出てくるのが多く、そこを乗り越えて、信頼関係を築き、建設的な意見をもらえるようになるまで時間がかかりました。

熱心に協力してくれる一部の人の熱意を、いかに地域全体に広げていくかは今後の地域づくりを進める上での課題だと思います。

幅広い年代の方に興味を持ってもらうことが必要ですが、女性や若者を取り込むのは難しく、今後の地域づくりを進める上での課題だと思います。

実施した感想

（地区住民）

■景観やまちづくりも大事ですが、それより先に修繕してほしい道路（市道や村道）がたくさんあるように思います。どちらも平行して取り組んでいって欲しいと思います。

■説明会やワークショップになるべく出たいのですが、都合がつかないことが多く残念でした。

■説明会などに出ると、年配の男性の出席が目立つため、女性や若い人の意見を取り入れる工夫を考えるとよいと思います。

■予算がないなかでいろいろ考えてもらえるのはありがたいです。

元気づくりの立役者たち

甲子高原（日光国立公園）



今後の地域づくりを担う子供たち



事業の効果

■ 広域交流連携

国道289号甲子道路の全線開通に伴い、沿線五市町村（栃木県那須町、白河市、西郷村、天栄村、下郷町）が広域的な交流連携の取り組みを今後予定しています。

国道289号 甲子道路全線開通



国道289号こどもサミット



■ 国道289号こどもサミット

白河市、西郷村、下郷町、南会津町の小学生が交流する『国道289号こどもサミット』を（財）白河青年会議所主催で開催しています。

■ 広域連携交流

那須甲子白河大川羽鳥広域観光協議会を設立しました（H20年9月）。

地域の課題・今後の展望

今後は、甲子道路の全線開通、及び那須甲子有料道路の無料化により、那須地域や会津地方という大きな観光地を経由し、往来する旅行者の増加が予想されることから、西郷村の観光の魅力を高め、発信していこうと考えています。

西郷村は、県南地域の北西部に位置し那須連山等の峰々、日光国立公園、阿武隈川等の自然環境に恵まれた地域です。観光客の入り込みは近年減少傾向にあります。

整備内容及び利用状況

座頭ころばし展望台



施工前



施工後

剣桂展望台



施工前



施工後

利用状況

平成20年9月21日に国道289号甲子道路が全線開通したことから、最近利用者が増えています。

(利用者の声)

- 周辺の主な観光ポイントがわかる大型観光案内板を設置するとさらなる誘客につながると思います。
- 周辺にトイレ等がないため、トイレの設置が望まれます。

管理状況

管理協定を、西郷村と平成20年6月13日付けで締結しました。

関係機関

- 福島県 県南建設事務所 企画調査課
- 西郷村 建設課

TEL : 0248-23-1617

TEL : 0248-25-1118